



http://www.shinshiyou.com

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F
TEL. 045(440)3210 FAX.045(440)3209

発行元/公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

発行人/会長 小澤 俊通

編集人/神私幼総務部(広報室)

発行/年3回

発行部数/1700部

令和2年度 幼稚園教育経営研修会 開催 withコロナの時代の幼児教育



神奈川県私立幼稚園連合会 小澤俊通



来賓 神奈川県子どもみらい部私学振興課 課長 山中 毅様



来賓 神奈川県子どもみらい部次世代育成課 課長 川上 亮様



基調講演 大杉住子様 (文部科学省 初等中等教育局 幼児教育課長)



特別講演 安達 謙様 (全日本私立幼稚園連合会 副会長)

INDEX

2・3 令和2年度を振り返って
●公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会 会長 小澤 俊通

令和3年度 私学振興費の概要について
●振興部長 石井 和 則

4・5 特集 第2回 コロナ禍における幼稚園の生活様式
川崎協会/藤沢協会/鎌倉協会/茅ヶ崎協会/小田原協会/相模原協会

6・7 令和2年度 幼稚園教育経営研修会
withコロナの時代の幼児教育
研修事業部・研究部・認定こども園協会 活動報告

8 Pride of KANAGAWA
法律相談/教育相談
研修会報告

賛助会員を広く募集します

加盟園の皆様からのご紹介をお待ちしています。
ぜひ県連事務局へご連絡下さい。



新規賛助会員紹介

賛助会員は県連の応援団

テルウェル東日本株式会社 神奈川支店

取扱：110番直結非常通報装置販売・保守
オフィス・衛生用品販売等
〒231-0033 横浜市中区長者町5丁目60 NTT長者町ビル
Tel. 045-341-0122

株式会社プライス

取扱：総合商社、情報通信サービス
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4丁目1-16-203号室
Tel. 078-232-1107

令和2年度を振り返って

昨年4月の緊急事態宣言に続き、新たな年を迎えてすぐ二度目の緊急事態宣言が発令されました。4月・5月の緊急事態宣言では、ほぼ全ての幼稚園が臨時休園する事となり、この先どうなってしまうのかという不安な毎日を過ごしました。二度目の緊急事態宣言では休園までは求められないものの、より一層の感染防止対策が必要となっています。各園はあらゆる手立てを講じながら、日々の保育にあたり必要とされていることと存じます。まだまだコロナウイルスへの感染防止対応が必要な毎日です。

公益社団法人
神奈川県私立幼稚園連合会
会長



小澤俊通

それでも幼稚園は負けられない

保育を進める中で、子ども達の「3密」を避けることは本当に難しいことです。マスク着用や何度も手洗いすることは日常となりました。年間の保育計画で予定していた多くの行事は見直しを迫られ、中止せざるを得ない行事も多かったことでしょう。それでも毎日、幼稚園に子供たちがいてくれる事が、私たちの救いとなりました。やはり、子ども達の笑顔と元気さは、希望に満ち溢れています。子ども達の環境へ順応する力には驚かされますし、たくましく成長していることの証ではないでしょうか。保育が出来ること、そこに子ども達がいることを喜びとして受け止めていきましょう。

少子化へのスピードが加速

昨年の出生数は、80万人を下まわると

もいわれています。勿論コロナの影響も大きかったと思いますが、益々子どもの数は減り、そのスピードは加速しています。この4月からの園児数も大きく減少することが予想されています。特に1号認定での入園希望の激減は、厳しく受けとめざるを得ません。コロナの影響があり、家計の収入が減り、母親も仕事をせざるを得ない状況が生まれています。平成28年度に、県内における幼稚園の園児数と保育所等の園児数が逆転致しましたが、その差は益々開いていくばかりです。少子化と保育希望の増加は、我々私立幼稚園にとつては、二重の苦しみです。どのように打開していくか、私たちに問われています。

「子ども・子育て会議」の資料から

コロナ禍の状況で、ほぼ全ての会議がオンラインや書面での開催に切り替えられています。全日本私立幼稚園連合会や

関東地区団体長等がZoomで開催され、オンラインでの会議にもようやく慣れてきました。県においては「子ども・子育て会議」が、全て書面での開催となっています。会議の資料からは、各市町村の保育需給計画がまとめられています。今後5年間で、1号認定の園児は20%以上減少すると見込まれ、2号認定の園児は微増、3号認定の園児は12%以上の増加となっています。その結果、認定ことも園においては、2・3号認定園児の利用率変更が求められ、幼稚園においては、新2号として利用する園児のための預かり保育の充実が必要となっています。また、人材確保については、昨年度から保育士等の求人倍率が4倍を超えており、保育教諭や幼稚園教諭の確保が益々厳しくなっています。昨年3月の県内の養成校の卒業生の進路は、55%が保育所等、25%が幼稚園、20%が他業種となっています。幼稚園教諭の仕事の魅力を発信し、この道を目指す学生を増やしていきたいと思いますが、簡単なことではありません。各園は今以上に職場環境の改善に努力する必要があると思います。

ようちえん会館のバージョンアップ

今年度は予定していた研修事業が、ほ

とんどオンライン開催となりました。1月の教育経営研修会もYouTubeライブでの配信となりました。ようちえん会館から配信する時は、試行錯誤を繰り返しながら、担当者や事務局に大変なご苦労をおかけしました。この機会にようちえん会館のIT環境をバージョンアップして、オンライン配信出来るスタジオとしての機能を高めたいと考えています。会館取得から10年以上が経過し、音響設備も更新する時期を迎えています。それなりに経費がかかってしまいましたが、補正予算として支出することを決定致しました。知恵を出しながら、節約すべきは節約し、必要な機器や機材には支出を惜しむことなく進めたいと考えています。

まだまだ、コロナウイルスへの対応は必須です。ワクチンや特効薬の開発に期待はするものの、日頃からの予防対策は怠ることは出来ません。新年度に向けて、保育計画を立てておられることと存じますが、感染防止が前提となる行事の在り方を模索していくしかありません。「明けな夜はない」「陽はまた必ず昇る」という言葉を信じて、日々の保育に邁進してまいります。

今年度のご協力を改めて感謝申し上げます。ご挨拶と致します。

令和3年度 私学振興費の概要について

令和3年2月15日(月)県庁において令和3年度県予算(案)「私学振興費」の概要について、福祉子どもみらい局橋本局長から県連合会へ説明がありました。一般会計全体の当初予算額は2兆484億円で、前年度比107.6%、コロナから「いのち」と「暮らし」を守り抜くための予算案となっています。長期化する新型コロナウイルス感染症の影響で県税収入が大幅に減少し、昨年9月の時点では1,100億円の財源不足が見込まれるという厳しい予算編成の中、徹底した事業見直しや臨時財政対策債の発行などの財源確保が図られ、限られた人的資源や財源を新型コロナウイルス感染症への対応に重点的に配分するとともに、水防災戦略や新たなびや計画(県立教育施設の整備)、市町村に対する補助金など、県民生活に直結する事業は着実に推進する予算編成となっています。

こうした中、幼稚園関係の経常費補助については前年度比91%の約98.4億円、『園児一人当たりの単価』(県の割戻額)は195,578円で、200円増しの微増にとど

まりました。内訳は下表のとおりで、新制度園への移行に伴う補助対象園の減少により、預かり保育推進費や地域開放推進費などは減額、また特別支援教育費補助も対象児の減少に伴い減額となっています。一方、私立幼稚園緊急環境整備費補助については110.4%増となり、教職員割については、『在職年数が長い教員への加算』として、勤続年数が通算8年以上から7年以上に拡充されました。

次世代育成課の当初予算案についても説明がありました。大変厳しい財政状況のなか、新規事業は認められなかったそうですが、幼稚園からのニーズも高い『一時預かり事業費補助』については前年度対比147.5%と大幅増になっています。

幼児教育の無償化は3年目を迎え、様々な課題が明らかになりつつあります。今後も福祉子どもみらい局や県議会の皆様に幼児教育の重要性を更に訴え、来年度の予算要望に反映させていきたいです。

(文責/振興部長 石井和則)

令和3年度 当初予算(案)私学振興費の概要 (私立幼稚園関係抜粋)

事業	令和3年度 (千円)	対前年度比 (%)	幼稚園関係摘要
経常費補助(一般)	9,839,913	91.0	園児単価：国の基準単価 192,578円 県の割戻額 195,578円(特別補助を含む) 前年度比較 200円増(100.1%)
内 預かり保育推進費(特別)	351,540	93.7	補助対象園数の減 251園→228園(23園減)
内 地域開放推進費(特別)	150,800	97.3	補助対象園数の増 240園→233園(7園減)
幼稚園教員復帰支援事業費	1,727	100.0	県単独事業
私立幼稚園特別支援教育費補助	1,697,360	89.5	補助対象園児数の減 2,310人(258人減) (新制度移行園含む)
私立幼稚園移行準備費補助	6,160	93.7	認定こども園等への移行にかかる業務負担軽減の費用補助
私立幼稚園園務改善費補助	17,999	80.6	幼稚園業務の負担軽減のための支援システムの推進
私立幼稚園緊急環境整備費補助	81,192	110.4	幼児教育の質向上を図るため、遊具等を整備する私立幼稚園及び認定こども園に対して補助。
私学団体助成費	6,400	100.0	私学4団体の研修事業等に助成
一時預かり事業費補助	1,362,510	147.5	(次世代育成課) 緊急的な保育ニーズや保護者の通園・通学・リフレッシュのために就学前児童及び幼稚園児の一時預かり事業を実施する市町村への補助。

特集 第2回

コロナ禍における幼稚園の生活様式

コロナ禍における取り組みについて全2回で各協会にお聞きしました。今回は第2回目となります。

川崎協会

川崎協会の取り組み

2度目の緊急事態宣言が発令され、まさに今年度は新型コロナウイルス感染症に振り回された一年でした。何が正解なのかという確証のない中で、各園でも日常生活から行事の計画まで、全てを一から見直し、検討し、模索しながら過ごされたのではないでしょうか。皆様にお疲れ様です。

以下に川崎協会としての対応をお伝えします。年度初めからの緊急事態宣言を受け、各園からは協会としての対応を示して欲しいとの声も聞かれました。当時は、私立学校として園の運営方針はあくまでも各園のご判断、とお伝えしました。

6月には1回目の宣言への対応やその後の園運営や行事計画等について、協会より各園に調査を実施し7月には集計結果を配布しました。加えて、7月末には今後、教職員や園児が濃厚接触者になったり陽性が確定した場合の対応マニュアルとして『幼稚園で新型コロナウイルスの感染者等が発生した場合の流れ』を作成し、必要な連絡先や各区の保健福祉センター等を共有しました。

藤沢協会

多岐にわたる協会によるコロナ対応

【当事者になってみる】昨年10月に令和3年に向けた園児募集の案内や説明会を時を同じくして、家庭内感染による園児の陽性反応が自園で判明しました。ガイドラインに従って接触者及び濃厚接触者の範囲の特定に、週末を返上して職員で対応に当たりました。結果100名を超える該当者がそれぞれ医療機関並びに本園の教室を簡易検査場として、PCRを実施。結果判明まで約1週間を要しました。

10月の後半、臨時休園を経て説明会を11月1日を迎えたことは、本園の半世紀を超える歴史の中でも初めての事です。幸いクラスター等の感染拡大は回避でき、無事11月には通常の保育が戻りました。

【人権尊重と情報開示の間】初動では、必要な情報のスピード感ある発信が求められます。他方、人権の尊重と感染者並びに、その家族の個人情報保護と、偏見や差別を招かぬ発信の在り方や、事後の対応には細心の配慮が必要でした。状況判断とそれに基づく行動。行政や現場との密な情報共有に基づいた慎重な対応。「言いつけは易く行いつけは難い」の連続でした。



藤沢協会 会長 池田 清

鎌倉協会

各園の協力とより良い保育を目指して

昨年4月に緊急事態宣言が出された当初は『入園式をどうのびのびとするか』『登園できない子どもたち何ができるか』等、それぞれの園で悩み・模索しながらの日々でした。5月に入り協会の園長会をWeb会議にしたことで、各園の取り組みや考えを情報交換することができ方針が決めやすくなりました。その後も定期的に開催される会議で、協会全体が協力し合っただけでなく、園内でも協会の取り組みについて協議できることを大変心強く感じています。

今年度協会内で予定されていた研修会は中止にしたものが多かったのですが、来年度はオンラインで行うことを検討しています。

又、市内の小中学校・公立保育園で感染者が出た時に情報共有できるように鎌倉市の関連機関から連絡を受けられるようになりまし。今後は民間の施設の情報も知らせて頂けるよう調整中です。自園の感染症対策は、朝の検温・手洗い・消毒・室内換気・昼食時にシールドを使い飛散防止に努めるなどできる限りの対応をしております。



鎌倉協会 会長 高藤 宏子

学期中の協会行事は理事会と2回の園長会以外全て中止しました。2学期が始まり、9月からは就職フェアや園長会、各種研修会を再開しました。理事一同悩みに悩んで、1月20日の研修大会もリモート配信併用で全体会のみを実施しました。

また、11月に設置者・園長研修会として医師・ジャーナリストでWHOの感染症チームへの勤務経験もある村中璃子先生を講師に迎え、感染症対策についての研修会を実施しました。先生はドイツ在住で、ドイツのロックダウン後に数万人規模の子どものデータを集められました。そこから検証されたことは0歳〜小学2年生の子どもの感染例がほとんど無く、3・4年生を移行期に小学5年生以上の子どもたちは大人と同じように感染リスクが高い、とのことでした。また、幼稚園で0リスクを目指すことで先生方が疲弊してしまうことのないように、バランスをとって対策を続けたいというお話でした。

川崎協会 会長 鈴木伸司

廊下、関係者から温かい励ましの言葉を頂きました。臨時休園など保護者の不利益になる状況のもとで頂いた激励の言葉は心に染み込みました。感謝の念に堪えません。また、園再開時、子ども達やさしにも救われる思いでした。困難を通じて他者を感じる心遣いや思いやりを育てる機会となった感に致しします。

【孤独の常態化に抗う】「黙食」という言葉を最近耳にします。やがて辞書にこのワードとなるのでしょうか。マスクを外し静かに語らず黙々と給食を食べる景色が園内で日常化しつつあります。そもそも保育の現場に密着等は、愛着形成に不可欠と言えます。求められる行動変容の中にあっても、著しい孤立感や孤独感をもたらす環境設定を問い直す姿勢の重要性を感じます。常態化させる物とさせない物の適切な選択が必要ではないでしょうか。また園で大切に育ててきた行事等も安易な「中止」判断に陥らないよう、絶えず思考を止めない姿勢が肝要と痛感します。そして、幼児教育の現場で汗する先生方との情報共有に立脚した共感力・協働力が、子ども達の成長を支える根拠の一つであると感じています。

園での感染予防対策を保護者にも知らせることで安心して幼稚園に通って頂けるように心掛けています。しかしながら園内の様子を見学できない為、幼稚園が初めての方は随分と心細い思いをされたのではないのでしょうか。幼稚園の役割として『子育て支援』もありますので、今後できることを考えていきたいと思えます。一方、子どもたちを多く育っています。密を避けるため室外での活動を多くしたことで、園庭だけでなく山散歩にも多く出かけ、休園中の運動不足を解消することができました。学年を超えての交流も例年より早い時期から見られるようになりました。

行事なども職員間で考えコロナ禍でもやれることを工夫し、新しい発想を取り入れることで良い結果で終えることができ、今までの『こだわり』を变える良いきっかけになったと思えます。今年度何とかならず終わらせようという職員理解と日々の協力があったことで感謝しております。

茅ヶ崎協会

今、大切なことは、心の密

初回の緊急事態宣言期間中また保育再開の際に、各園で多岐にわたるコロナ対応に悩み、不安を感じている園長がほとんどでした。そのようなか、園長会では情報を交換し合い、解決策を考えてきました。以前より保育園、幼稚園、子ども園、小学校との連携もあり、小学校等より発信される情報を得、休園、短縮の際の参考にしました。また、長期休園中には、保護者や子どもたちへの発信したらいのか、各園で考えていることを共有し、参考にしました。



茅ヶ崎協会の北部にある県立里山公園に於いて、里山公園クラブの方を講師に自然観察の研修を予定しています。誰もが感染者になりうるリスクの中、人を大切にすることは、子どもの育ちをどのように保障していったらよいのか、など原点を考えた、コミュニケーションをとり、つながり合い、支え合うことを大切にして、心の距離が離れていかないように願っています。より良い幼児教育を実現していきたいと思えます。

協会三役は前年度からの引継ぎで、研究部・経営管理部は新しい方をお願いをしました。昨年度はコロナウイルス感染症予防で卒園式・謝恩会等の行事は各園の判断で自粛して行いました。今年度は緊急事態宣言が発令され協会全園は2カ月の休園でスタートしました。

小田原協会

コロナに負けない子

協会の活動もコロナの状況等を考えながら研修活動内容を考えて進めてまいりました。特に今年度から小学校のカリキュラムが変わり幼小の接続で何ができるようになるのかという点と小田原市教育委員会の小学校担当の指導主事の先生と協会の園長先生と令和2年度のスタートカリキュラムの具体的な指導内容を質問形式で話し合いました。幼稚園では何をどのような形で伝え送り出せば小学校生活に直接参加できるようなものか具体性にかけておりました。



9月14日に電話作家である小風さち先生の家庭教育研修会も400名定員の会場で入場制限を行い、100名の保護者の方の参加で無事に終了しました。小風さち先生は「この時期に講演会を開催してくださって感謝」と感動をしております。

協会活動もコロナの状況等を考えながら研修活動内容を考えて進めてまいりました。特に今年度から小学校のカリキュラムが変わり幼小の接続で何ができるようになるのかという点と小田原市教育委員会の小学校担当の指導主事の先生と協会の園長先生と令和2年度のスタートカリキュラムの具体的な指導内容を質問形式で話し合いました。幼稚園では何をどのような形で伝え送り出せば小学校生活に直接参加できるようなものか具体性にかけておりました。

最後にりましたが、一時期はマスクが不足して大変な時期もありました。またコロナ対策で小田原市と湯河原町は一切の支援はありませんでしたが、南足柄市内の協会加盟園2園には6月30日に全教職員に一人当たり5万円の感謝金がありました。今、小田原市では公立幼稚園6園と公立保育園6園の統廃合の話が決まったのですが、未だに具体的な進捗が見えません。今年度も園児募集を行う事はあと3年間はそのままでしょうか。新市長になり早く決めてほしいと願っております。

相模原協会

Webを活用した活動の促進

2度目の緊急事態宣言は、解除出来たでしょうか。慣れることは良い事でもあり、困った事でもありません。一年前の未知のウイルスの感染拡大に戦々々々として、先の見えない不安でいた頃から約一年が経ちました。今も感染への不安はありますが、子どもたちや園の活動が制限を受けることが一番の悩みで、皆で考え対策を立てて如何に必要な教育・保育を行うかにかつ労をしております。



曲を多くの園が参加し歌って踊る動画を制作して配信する、「ほよん行進曲プロジェクト」を展開し、自宅待機の園児は元より、保護者や卒園生にも幼稚園と繋がる、楽しく良い機会になったと思えます。

協会としては、昨年3月の自粛時から各園アンケート等で情報交換し、市担当課と連絡を取りながら対応して来ています。協会内での会議等はWeb（Zoom）を使い、総会もWebを併用して広い会場で行いましたが、流石に市長や多数の来賓を招き永年勤続表彰や新任の歓迎、それと研修を行う教育大会は中止決定しました。

登園自粛や休園中の各園では、Webを使っての保育をしたり、様々な保育動画を作り、配信したり、Webを活用した園が多かった様です。その中でも若手からアイデアの出た、ほよん行進

各協会の取り組みが参考になればと思い、前回の2回にわたって各協会の「コロナ対応について紹介しました。コロナ禍の中、大変と思いますが、子ども達の笑顔のために頑張りましょう。」

相模原協会 会長 齋 裕也

基調講演

「持続可能な社会の創り手の育成と幼児教育への期待」
講師 大杉住子 先生(文部科学省 初等中等教育局 幼児教育課長)

大杉住子課長は14年前の幼児教育課の時に、学校教育法において幼稚園を先頭に位置付けする等の制度改革や、認定こども園の制度作りにも携わってこられ、学習指導要領、幼稚園教育要領の改訂にも大きく関わってこられました。現職へは本年1月1日付けで着任されたばかりです。はじめに、2020年度は幼小連携の充実を図る年だったが、新型コロナウイルス感染により世界中が影響を受けて

おり、このような「複雑で予測困難な変化」に直面したことで個人や社会、組織の構造(レイネス)やしなやかさ(レジリエンス)が問い直され、学校が臨時休業したことにより「学校とは(集団の意義とは)」「カリキュラムとは」「教職員の専門性とは」を再確認することになった1年と振り返られ、これからについて4つの課題を挙げてお話しくださいました。

①「Withコロナ時代の変化と幼児の学び」では、幼稚園教育要領は「複雑で予測困難な変化」を見据えた教育課程の在り方に関する知見の集大成であること。
②「誰一人取り残さず成長を支える体制の整備」では、SDGs(持続可能な開発目標)から、「誰一人取り残さない」社会のために地域、家庭を巻き込んだ幼児教育推進体制をつくるのが大切であること。
③「学びや遊びの意義の共有と社会に開かれた教育課程」では、幼稚園を卒園した後の子どもの姿を見通し、幼児教

育の意義を可視化し、社会と共有することが重要であること。
④「カリキュラム・マネジメントと教育実践の質の向上」では、「10の姿」を踏まえて、教育課程を編成する上で改善点を探るためにも幼稚園教育要領総則をチェックリストとして活用し、教員による理論と実践の往復と共有を意識すること。
これらが大切である、とのこと
(文責 野毛山幼稚園 奈良昌人)

特別講演

「研修俯瞰図とキャリアパス」―自らが研修の主体者として―
講師 安達 讓 先生(全日本私立幼稚園連合会 副会長)

全日本私立幼稚園連合会副会長の安達讓先生を講師にお招きして、「研修俯瞰図とキャリアパス」をテーマにリモートで研修会を開催しました。

はじめに、研修俯瞰図の成り立ちとして、2004年「養成校卒業後、何をどのよう

に学び続ける必要があるのか、全体像が明らかになっていない「現状から、2006年の研修ハンドブック完成までの経緯が説かれました。俯瞰図は、縦軸をもとに横軸のキャリアに応じた研修を重ねていく構成です。改定での改善点、俯瞰図に

関しての解説がありました。次に、これからの時代の研修に関する話があり、専門性を高めるための研修。処遇改善と研修。様々な職種スタッフと研修機会の確保。ICT化等、詳細に述べられました。また、園内研修では、同僚性、ファシリテーター、ミドルリーダー研修等。研修での手法も述べられました。最後に、子どもの主体性を育む保育者



(文責 サクラノ幼稚園 志村富士)

研修事業部

研修事業部・研究部・認定こども園委員会

活動報告

令和2年1学期は非常事態宣言が発出され多くが4月5月休園措置を取られたこと存じます。自園の対応と新たな取り組みでお忙しい毎日をお過ごしだったことご推察申し上げます。

そんな中、始まった新規採用教員研修会はオンライン(Zoom)を使った研修となりました。県連初、オンライン研修のスタートです。講師の塩先生には県連まで足を運んでいただき特設スタジオからの配信となりました。これ以後、特別支援教育研修会、中堅教諭研修会もオンラインで開催しました。6月の教員免許状更新講習については受講枠を半数に減らし、密にならないよう会場を設定して開催しましたが、以後夏の免許状更新、秋の免許状もオンラインでの開催でした。文科省からコロナの関係で受講免除の案内を受けたのは新学期が始まってからだったように思います。

Zoomの使用方も習熟し、一方通行でなく、受講者からの発言を聞いたり、受講者同士の会話等もできることがわかり、研究部活動もZoomを使ってスタートしました。Zoomは会議だけでなく、講習や研究活動等にも使える本当に便利な道具で、今やなくてはならないものです。一方通行でなければ、YouTube等の使用もあります。むしろ編集することで、より理解しやすい講義等の作成も可能です。かたやYouTubeはダウンロードもできてしまい、何度でも講義を聞くことができます。そこに短所もあります。講義者の意にかかわらず

何度でも無料で視聴ができるため、著作権がない状況にもなりません。

どちらも一長一短あるツールです。受講者が県連まで足を運ぶことなく受講ができるメリットは受講者数の伸びや、参加受講者の地域的な広がりにも影響をもたらしました。県西部や県

現在、このコロナ禍では対面の研修会を開催することにリスクもあり、このツールを使わざるを得ない状況です。令和3年度のコロナの行方どうなっていくのかまだわからない状況です。研修事業部も研究部もしばらくの間は、この二つのツールを使い分けながら事業を計画していきます。どうぞ加盟園設置者・園長先生方の皆さま、自園で受けられる研修事業や研究活動に多くの先生方が取り組めるようご理解いただきご支援いただければ幸いです。

(研修事業部長 田中伸宜)

研究部

思い起こせば1年前、コロナ禍が始まり、3月2日から春休み前まで学校関係に休業要請が出され、それが5月31日まで続きました。入園式を始め、行事の変更を余儀なくされる中、それぞれの幼稚園でもこの間を利用して園内研修や研究を行ったところもあったようです。

県連の研究部でも若手後継者のための保育勉強会、研究特別委員会のA部会、ECEEQ部会、B部会、そして教育課程研究協議会などほとんどの研究会が中止になってしまいました。この

学び」では、幼稚園教育要領は「複雑で予測困難な変化」を見据えた教育課程の在り方に関する知見の集大成であること。

②「誰一人取り残さず成長を支える体制の整備」では、SDGs(持続可能な開発目標)から、「誰一人取り残さない」社会のために地域、家庭を巻き込んだ幼児教育推進体制をつくるのが大切であること。

③「学びや遊びの意義の共有と社会に開かれた教育課程」では、幼稚園を卒園した後の子どもの姿を見通し、幼児教

間YouTubeで動画を配信したり、Zoomで保育をしたり、様々な試みをされていた園もあつたと聞いています。

研究部でも今後の研究活動をどう進めていくか、なるべく早く研究活動を再開するにはどうすれば良いかなどを考えながら模索していく中で、Zoomを使った研究活動を行うことになり、県連でその環境を整えてもらいました。早速9月3日に井桁容子先生の乳幼児保育セミナーから始めましたが、井桁先生が自宅から講義をしてそれを皆さんに届けるかたちで行いました。まだ皆さんが慣れない中で、ホストのマニュアルを作り、司会進行を割り振り、手探りの研修会が行われましたが、なんとか無事に行うことが出来ました。

ただZoomを使った研修方法も様々な問題点が出てきました。井桁先生の2回目の講義では、先生側のネット環境が悪くなり、講義が中断してしまうハプニングがありました。映像を県連が流し、それを井桁先生が自宅で見ながら電話で講義を行い、その音声を皆さんに届けることで切り抜けたこともありましたが、他にも配信する側、受ける側の問題で不具合になることもありました。研究内容はだんだん充実していったと思います。

A部会では、各園の環境を変えることで子どもの学びが変わったことをポスター発表することで、意見を言い合い、佐藤先生のコメントに結びつける研究の流れを作り上げることが出来ました。ECEEQ部会では、参加者がグループディスカッションをしながら、ファシリテーター



©ビッグ錠

のスキルを学ぶ研修が出来、B部会でもとても奥が深い佐伯胖先生の講義に森本先生が対談することで、内容がとても分かりやすく、参加者が深い学びをする事が出来るようになりました。対面で行うこともとても大事ですが、この状況でスタッフの先生方が工夫を凝らして良い研究活動をしていただいたことに感謝致します。

今後は県連によりよい環境が出来るので、Zoomの良さを生かした研究活動を進めていきたいと思っています。はやく対面での研究活動が再開することを願っています。
(研究部長 佐伯妙有)

認定こども園委員会

認定こども園委員会は、平成27年度から始まった新制度にかかわる情報交換や問題の共有をする新制度特別委員会としてスタートしました。「認定こども園」が増えてきたこともあり、今年度、改名しましたが、認定こども園だけでなく、新制度にかかわる各協会や各園の課題をまとめて、その対策に向けて活動しています。

新制度における処遇改善加算IIについては、令和4年度から行政が研修要件を確認すると言われています。5年間は経過措置で研修要件が満たされなくても加算分を自治体が付けていましたが、確認実施する年度からは要件が満たされない職員分は加算が付かないこととなります。各協会が自治体と交渉でいつからの研修を認めるのか、研修要件はどこまで認められるのかを確認・交渉していくようお願いしています。各園においても各職員個人に研修管理を奨励するだけでなく、園でも職員がどこまでが研修要件を満たしているか把握、管理をすることが必要です。うっかり、研修要件が満たされている職員数を間違えて多く申請してしまうと、全員の加算がつかないということにもなりかねません。また、先のことと確認作業をしていない園もあるかと思いますが、今から各職員があと1年でどこまで研修要件が満たされるのかを確認しておくことをお勧めします。

また、認定こども園委員会では、2年前よりキャリアアップ研修としてマネジメント研修を実施しています。今年度は、対面での研修が難しくZoomでの研修を実施しました。キャリアアップ研修A・B・Cと各研修とも講師の先生のお話はわかりやすく受講者に好評です。来年度以降も、多くの方が参加できるように開催していきたいと思っています。
(認定こども園委員長 樽木陽子)

祝 Pride of KANAGAWA

今年も嬉しいお知らせがありました。
心よりお祝い申し上げます。

令和2年度 相模原市市民文化表彰

学校法人宗祐寺学園
田名幼稚園 理事長・園長 **永保 固紀** 先生



相模原市市民文化表彰とは：相模原市の公共の福祉の増進、文化の向上又はスポーツの振興に寄与し、その功績が特に顕著と認められる方に贈られる。

法律相談



R&G横浜法律事務所

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい4丁目4番2号
横浜ブルーアベニュー2階

TEL.045-671-9654

県連窓口担当 **西村 将樹** 弁護士



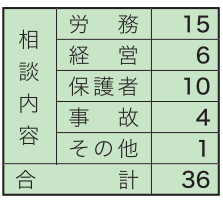
労災認定の判断について

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は減少傾向となっていますが、引き続き警戒が必要な状況にあり、職場で感染者が出るという事態も以前に比べて珍しいことではなくなっているといえますが、職員が感染した場合は労働災害(労災)に該当するのでしょうか。

医療従事者等が感染した場合は、感染リスクと隣り合わせで日々業務を行っていることから業務外で感染したことが明らかな場合を除き、原則として労災保険給付の対象になります。難しいのは医療従事者等以外で、かつ感染経路が特定されない場合ですが、例えば幼稚園において複数の園児や保護者と近距離で接する機会が多く、かつ私生活での行動等から感染するリスクが非常に低いと判断されるケースでは、労災保険給付の対象になると判断されることがありますので、状況を正確に把握することが重要です。

令和2年 法律相談件数

労務	15
経営	6
保護者	10
事故	4
その他	1
合計	36



教育相談



相談の申し込み

電話・ホームページから事務局へ申し込みください。

TEL.045-440-3210

<http://www.shinshiyou.com>

教育相談員 **鈴木 敦子** 先生(臨床発達心理士)




トイレ問題

多くの幼稚園が年少入園時にオムツが外れていることを条件にしていると思います。しかし実際には4月の時点でクラスの半数がまだオムツであることも珍しくないようです。先日訪れた幼稚園の年少男児で(やっ)オムツからパンツに切り替わった子がいました。しかし、家庭ではトイレに行けるのですが、幼稚園では行きません。つまり降園時までオシッコをしないのです。水分はとっているのに担任の先生はハラハラしています。お母さんは「きれい好きなので」といいますが、幼稚園のトイレもきれいです。そういえば先日小学二年生女子で母親が父親が付き添わないと家のトイレに行けない子がいました。学校では一人でトイレに行っているのに担任の先生はびっくりです。トイレには魔物もいるのでしょうか。何が引っかかるのです。明るさ、広さ等々。年少男児にはオムツに戻すことを提案しました。先生のハラハラは緊張としてクラスに伝わるからです。

令和2年 教育相談件数

月	電話	面談	出張	計
1月	3	1	6	10
2月	8	0	11	19
3月	1	0	0	1
4月	1	0	0	1
5月	0	0	0	0
6月	2	1	4	7
7月	0	1	4	5
8月	0	0	12	12
9月	2	0	2	4
10月	0	1	1	2
11月	3	0	4	7
12月	2	1	1	4
計	22	5	45	72



研修会報告

■ 研究部主催
■ 研修事業部主催
■ 振興部主催
■ 経営管理部主催
■ 認定こども園委員会主催

1月28日(木) 特別支援教育研修会兼10年経験者研修会 第5回 オンライン研修(Zoom) 154名
「個別指導計画の立案と事例検討会」
 特定非営利活動法人 発達支援機関リソースセンターone 代表理事 臨床発達心理士 上原 芳枝 先生

1月30日(土) 幼稚園教育経営研修会 オンライン研修(YouTube配信) 82名
 基調講演 **「持続可能な社会の創り手の育成と幼児教育への期待」**
 文部科学省初等中等教育局幼児教育課 課長 大杉 住子 氏
 特別講演 **「研修俯瞰図とキャリアパス」**—自らが研修の主体者として—
 全日本私立幼稚園連合会 副会長 安達 謙 氏

2月4日(木) 102条園研修会 オンライン研修(Zoom) 23名
「設置者交代や相続非課税等に関する最近の状況」
 公認会計士・税理士 粕谷 道正 氏

2月16日(金) 後継者育成研修会 オンライン研修(Zoom) 13名
「20年後も選ばれる園になるために、今からすべき園マネジメント」
 株式会社リール 幼稚園・保育園先生力向上トレーナー 孫 ちよんす 氏

2月25日(木) 若手後継者のための保育勉強会 第2回 オンライン研修(Zoom) 26名
「園内で保育者を育てるために必要な事」
 【講師】東京大学大学院教育学研究科附属 発達保育実践政策学センター 天野美和子 先生
 【コーディネーター】玉川大学教授・四季の森幼稚園 園長 若月 芳浩 先生

2020年12月~2021年3月 キャリアアップ研修 オンライン研修(Zoom)

講座A(12月2日~3日) 87名
「リーダーシップ」
 相模女子大学こども教育学科教授 斎藤 正典 先生

講座B(1月20日~21日) 119名
「危機管理、事故防止」
 心理学博士、保育の安全研究・教育センター 掛札 逸美 先生

講座C(3月3日~4日) 90名(予定)
「リーダーシップとチームマネジメント」
 (株)クロスライフパートナーズ 雑賀 竜一 先生

導入実績 **1586** 施設

※2021年1月時点

お問い合わせ・資料請求





園スタッフの業務効率化と保護者様に喜ばれる便利なサービス



幼稚園 認定こども園 保育園 向け

園支援システム

management system for kindergarten

ヴィッシュ株式会社 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦二丁目10番13号SC棟ANNEX 5F

委託給食
公立学校給食 / 保育園・幼稚園給食 病院・高齢者福祉施設給食 等

仕出し弁当
幼稚園・保育園弁当 / 公立学校スクールランチ オフィス・工場弁当

飲料水 宅配

プロパンガス販売
給湯器設置・施工
キッチン・バス リフォーム
冷暖房 / 床暖房の設置・施工

65th Anniversary



「本質」でいろいろる会社 /

株式会社 安田物産 YASUDA Co.,Ltd

〒242-0018 神奈川県大和市深見西2-6-28
 TEL 046-261-9700
 HP <http://www.yasuda-bussan.co.jp>